

しらゆり

地域とともに歩むしらゆり会 [広報誌]



Shirayuri

第30号

2014 October



しらゆり

2014 October

CONTENTS

2 理事長挨拶

しらゆり第30号発刊に寄せて

3 法人基本方針

平成26年度運営方針
就任のご挨拶

4 創立48周年記念式典 (新規採用職員・永年勤続者表彰) 訃報のお知らせ

5 平成25年度寄付・寄贈、 入札結果 平成25年度苦情処理状況

6 平成25年度決算報告

7 特集 希望の園

園舎改修関係

9 施設の活動報告

救護施設 泉の園

障がい者支援施設 希望の園

相談支援事業所 ねくすと

共同生活援助事業 互助の館

障がい福祉サービス事業 ワークセンター島根

障がい者支援施設 光洋の里

生活介護事業 さざなみ

軽費老人ホームケアハウス 夢楽の郷

特別養護老人ホーム 詔光の里

特別養護老人ホーム いやしの館

老人デイサービス事業 きらめき

老人ホームヘルプサービス事業 ねぎらい

訪問看護ステーション 暖心

居宅介護支援事業所 ナイス

児童福祉施設 しらゆり保育園

児童福祉施設 しらゆり第2保育園

児童福祉施設 しらゆり第3保育園

児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園



しらゆり第30号発刊に寄せて

社会福祉法人しらゆり会

理事長 国頭 正治

国は医療・介護や社会福祉法人にかかる制度の変革を推進しております。

保育園においては、子ども・子育て支援新制度の平成27年度実施まであと1年もない状況となりました。現在の保育所保育指針は幼稚園教育要領との整合性を図っているので、保育所や保育所型認定子ども園でも幼稚園と同等の幼児教育はできます。しかし、質の高い、一体的に行う施設として相応しい教育と保育の内容になるよう、保護者の望む保育・幼児教育を置き去りにできません。今後の少子化の歯止めができない状態での運営において、質の高さを求められることは必須となります。そのためには職員の学び合いの質をさらに高めなければなりません。

また、地域医療・介護総合確保推進法の成立により、平成27年4月より特養利用者は介護度3以上に特定され、8月より収入により1割負担が2割負担になるなど、団塊世代の高齢化で介護費が膨らむのを抑えるためですが、到底制度維持は不可能といえる状態です。そして、軽度の要支援サービス事業が市町村事業に移管されますが、新たな市町村格差が生じることの懸念が強く、人口減少・高齢化率の高い市町村では、サービスの担い手の確保すら見通せない状況であります。

さらに、国は労働人口の減少回避のため女性の社会参加推進の政策を進めようとしています。その対策として在宅医療・在宅福祉に切り替える政策を進めようとしています。現実とは相い

れない実態が生まれてきております。

障害施策においては、今年が平成27年度より始まる第4次障害福祉計画の最終検討年です。障害者総合支援法の完全実施と障害者権利条約の適用を初めて受ける計画となるため、大きく変動すると予測されます。

施設に対する運営に必要な施設型給付から、サービスを利用する個人給付へ変化してきた福祉制度は、老人施策・障害施策の担い手不足の中で、どれだけ実現していくのでしょうか。

規制改革会議等の中で、社会福祉法人の組織や実態が国民に正しく認知されていないとし、補助金や非課税措置などの税制優遇措置を受けている社会福祉法人は、ガバナンスの確立と経営基盤の強化を行い、利用者が安心して福祉サービスを受けられるよう、そして多様な経営主体によるサービス提供の中で、社会福祉法人としての社会貢献活動の義務化をすべきとの意見も出ております。

移り変わる社会の中で、社会福祉法人は地域に寄り添った支援を行い、地域の中で地域住民の自立生活困難者に対し、存在するものとしての認識が必要となります。時代に合わせた事業進化を地域のニーズに応えられるよう進め、その資源の有効活用が地域の皆様に末永く安心して利用していただけるよう、職員一同、正しい一歩を確実に歩んでいきたいと思っております。

法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の五つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていたいただけるように、従業員一丸となって利用者の皆様へのサービス提供に努めます。

一．人権の尊重

(利用者の基本的人権の尊重)

二．良質なサービスの提供

(安全・安心・快適なサービスの提供)

三．信頼性の確保

(苦情の申し出に対する親切な対応)

四．地域福祉への貢献

(地域の皆様へ社会福祉事業への理解促進及び知識普及)

五．法令遵守

(法令の遵守による適切な運営と透明性の確保)

平成26年度

法人の運営方針

社会環境の変化に伴い、制度が変わり、福祉の担い手も多様な主体が登場してきています。我々は、これまで以上に社会福祉法人としての使命感を強くし、誠実に福祉サービスの質の向上に努めていかなければなりません。間もなく迎える法人創立50周年に向けて、その歴史に恥じない、地域に頼られる・誇れる法人を目指して、直面する様々な課題に取り組みながら、その具体化に力を尽くしてまいります。

一．変化する施策への対応

社会福祉補償制度改革の動向や障害者総合支援法の段階的施行、次年度に迫った介護保険制度見直しに向けた検討など、法人運営に大きな影響を与えるこれらの動向について十分注意を払いながら先を見据えた健全な運営を行います。

二．希望の園舎改築工事

8月の完成に向けて、引き続き利用者の生活などに支障が生じないよう計画的に工事を進めていきます。加えて、新規オープンに向けて、地域における共生社会の実現のため果たすべき役割を明確に意識しながら、必要支援体制などの環境を整えます。

三．しらゆり保育園移転計画

平成27年度の開設に向けて、保育園の用地取得、開設に向けた市との協議、新園舎の建築設計など課題を整理しながら関係機関とも連携を密に取り、適切に準備を進めてまいります。

就任のご挨拶

四月から、特別養護老人ホーム詔光の里(いやしの館兼務)でお世話になっております吉儀(よしぎ)です。よろしくお願いたします。

介護の現場に籍を置くことになりましたが、今のところ、職員の皆様の一生懸命な仕事ぶりを、邪魔にならないように見ているだけという状態です。

さて、最近、同居しています妻の母が高齢のため車いす生活となり、入浴やトイレ、今後の自宅介護をどのようにしていくかなど高齢者介護は、我が家の問題でもあります。私も、トイレの介助(といっても車いすを押しただけですが)や食事の準備等はできますが、さすがに入浴介助までできず、妻の負担が増えました。

家庭での介護は、公共サービスを利用するとしても、一人に介護を押し付けるのではなく、同居している者も、近くに住む者も家族みんなで、手分けをしながら介護する体制を取らないと、介護者が倒れてしまいい、そうなるご家庭崩壊ではないかと実感している今日この頃です。

以前、金 香百合(きむ かゆり)さんの研修を受ける機会がありました。金さんは、栄養は体の栄養と心の栄養が



特別養護老人ホーム 詔光の里
施設長 吉儀 龍二

ある。丸いボールを半分に切った上半分が体の栄養、下半分が心の栄養で、いくら体の栄養が足りていても、心の栄養が足りずしぼんでしまったら丸いボールは弾まない。「あなたのまわりで心の栄養が足りないと思う人を思い浮かべてみませんか。」といわれ、なぜか妻の顔が浮かび、そのことを金さんに言うと、「よくそこに気が付きました」とほめていただきました。

家に帰り、妻への対応(特に愚痴に対する)を変え、今まではまるで聞こうとしていなかった妻の話を、しぶしぶですが黙って聞くことにしましたら、急に私が変わったと喜び、おかげで二品増えることはありませんが、なんか笑顔が少し増えました。いままら、研修で聞いて帰って、しかたなくしぶしぶ聞いているとは言えず、そのままずるると・・・最近ではおかげが増えるどころか、ちゃんと聞いていないとお叱りを受けるようになってきました。

詔光の里いやしの館におきましても、ご利用いただくお客様はもとより、職員の皆様にも笑顔と笑い声の絶えない、みんなが心の栄養を振りまく施設でありたいと思っております。皆様のご支援、ご協力よろしくお願いたします。

創立48周年記念式典

本会創立48周年記念式典が、平成26年4月11日ホテル穴道湖で開催されました。

当日は、理事、監事を含む役職員約120名が集い、理事長式辞に始まり、永年勤続職員表彰、記念講演と続き、最後に新規採用職員の紹介が行われました。

記念講演では、社会福祉法人仁多福祉会の松本憲二郎氏をお招きし、虐待防止に関するご講演を拝聴しました。



記念講演



新規採用職員

施設名	職名	氏名	採用年月日
詔光の里	施設長	吉儀 龍二	平成26年4月1日
泉の園	介護職員	櫻 洋彰	//
希望の園	支援員	矢野 佑一	//
ワークセンター島根	支援員	坂根 克則	//
光洋の里	支援員	小川 夏生	//
//	支援員	藤井 翼	//
//	支援員	横山 泰祐	//
いやしの館	介護職員	山根千華子	//
//	介護職員	石倉 美香	//
きらめき	看護師	高崎百合子	平成25年7月1日



新規採用職員

新規採用職員

施設名	職名	氏名	採用年月日
しらゆり保育園	保育士	飯島 拓也	平成26年4月1日
しらゆり保育園	保育士	犬山美佳子	//
しらゆり第2保育園	保育士	黒田 拓也	//
しらゆり第2保育園	調理員	安達絵梨花	//
しらゆり第3保育園	保育士	安部実香奈	//
しらゆり第3保育園	保育士	小室 悠	//
しらゆり第3保育園	保育士	藤原 梨沙	//
しらゆり第3保育園	調理員	竹中 結子	//
しらゆり千鳥保育園	保育士	原田 真緒	//
しらゆり千鳥保育園	保育士	石田 太志	//
しらゆり千鳥保育園	保育士	久木 千尋	//
しらゆり千鳥保育園	調理員	坂本 京	//

永年勤続者表彰

今年度は永年勤続20年に2名、10年に6名の方が受賞されました。心よりお喜び申し上げます。

20年を迎えられる方は海外、10年を迎えられる方は国内の職員特別研修視察を受けられます。

永年勤続表彰者

年数	施設名	職名	職名	採用年月日
20年	詔光の里	係長	山崎 秀美	平成6年4月1日
	詔光の里	介護職員	山本 保恵	//
10年	光洋の里	看護師	湯浅 千春	平成15年10月1日
	夢楽の郷	調理員	須田 友美	平成13年4月1日
	しらゆり保育園	保育士	山下 尚子	平成16年4月1日
	しらゆり第2保育園	保育士	平野 久美	//
	しらゆり第2保育園	保育士	渡部麻衣子	//
	しらゆり千鳥保育園	保育士	稲場真由美	//



永年勤続(20年)



永年勤続(10年)

訃報のお知らせ

しらゆり会理事の福田暢英氏が、平成26年7月23日にご逝去されました。昭和59年より役員として、しらゆり会運営に多大なる貢献をされました。ここにお知らせするとともに、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成25年度 寄付・寄贈

平成25年度年も多くの方々から善意の御寄付をいただきました。

寄付者（敬称略）	施設	寄付物品
山陰中央新報社会福祉事業団	希望の園	寄付物品
森 義郎	光洋の里	寄付金
松本 輝美	光洋の里	寄付金
境港歌吉愛好会	光洋の里	寄付金
加藤 裕一	夢楽の郷	寄付金
国頭 正巳	本部	寄付物品
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄付物品
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄付物品
しらゆり第3保育園保護者会	しらゆり第3保育園	寄付物品
しらゆり第2保育園保護者会	しらゆり第2保育園	寄付物品
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄付物品
希望の園保護者会	希望の園	寄付物品

最近の入札結果

平成25年7月以降の大規模工事にかかる入札結果は次のとおりです。

入札事業名：互助の館東津田 スプリングライナー整備工事 (指名競争入札)

1. 入札場所

松江市山代町934-15
詔光の里 研修室

2. 入札年月日

平成26年1月21日

3. 入札参加者

シンセイ技研(株)・島根電工(株)
島根水道(株)・山陰水道工業(株)
和幸冷温(株)・松栄設備(株)
三和電工(株)

4. 入札結果

落札業者：シンセイ技研(株)
落札額 7,560,000円
(消費税及び地方消費税込み)

5. 契約年月日

平成26年1月22日

入札事業名：希望の園 駐車場拡張工事(指名競争入札)

1. 入札場所

松江市山代町934-15
詔光の里 研修室

2. 入札年月日

平成26年8月7日

3. 入札参加者

松江土建(株)・カナツ技建工業(株)
まるなか建設(株)・(株)豊洋
(株)植尾組

4. 入札結果

落札業者：松江土建(株)
落札額 7,020,000円
(消費税及び地方消費税込み)

5. 契約年月日

平成26年8月8日

入札事業名：光洋の里 駐車場整備工事(指名競争入札)

1. 入札場所

松江市山代町934-15
詔光の里 研修室

2. 入札年月日

平成26年8月7日

3. 入札参加者

(株)リンクス
(有)松本組境港支店
(株)平田組境港出張所
境港土建(株)
美保テクノス(株)境港営業所
(他1社 辞退届)

4. 入札結果

落札業者：美保テクノス(株)
境港営業所
落札額 19,440,000円
(消費税及び地方消費税込み)

5. 契約年月日

平成26年8月8日

苦情処理の状況 (平成25年度)

苦情総数11件のうち7件が職員に関する苦情でした。具体的な内容としては、直接処遇をさせていただく中で利用者との意思疎通が不十分だった場面が見受けられました。それ以外は、利用者に関する苦情が4件ありました。

これらへの対応としては、一つひとつ丁寧な話を伺ったうえで解決して参りました。

今後の対応としては、発生した苦情を確実に解決するとともに、一つひとつの苦情の事例を引き続き集積しながら、利用者の抱く疑問や不安を早い段階で把握し、事故やトラブルを未然に防ぎ、サービスの改善につなげていくこととしています。

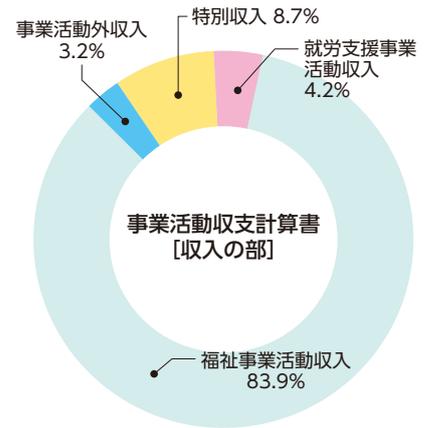
平成25年度決算報告

平成25年度決算状況(社会福祉法人しらゆり会)

貸借対照表(平成26年3月31日現在)

(単位:円)

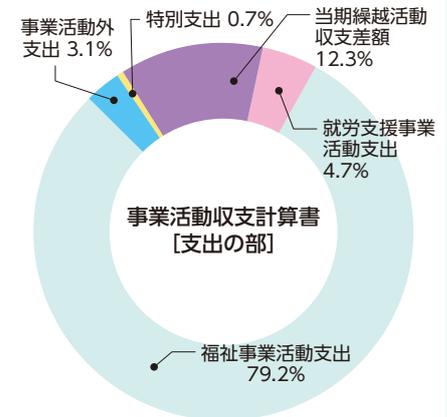
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,080,130,623	流動負債	248,571,401
固定資産	4,370,492,589	固定負債	229,000,711
		基本金	941,339,123
		国庫補助金等特別積立金	768,111,008
		その他の積立金	1,078,985,750
		次期繰越活動収支差額	2,184,615,219
資産合計	5,450,623,212	負債・純資産合計	5,450,623,212



事業活動収支計算書(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位:円)

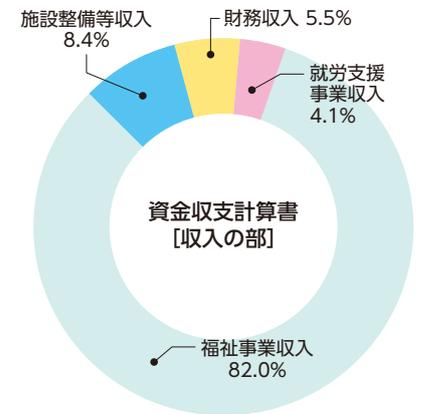
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業活動支出	124,556,919	就労支援事業活動収入	112,069,874
福祉事業活動支出	2,092,244,419	福祉事業活動収入	2,216,850,350
事業活動外支出	82,869,790	事業活動外収入	83,367,862
特別支出	18,096,427	特別収入	229,627,250
当期繰越活動収支差額	324,147,781		
合計	2,641,915,336	合計	2,641,915,336



資金収支計算書(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業支出	121,090,717	就労支援事業収入	112,069,874
福祉事業支出	2,025,003,862	福祉事業収入	2,228,561,308
施設整備等支出	361,903,530	施設整備等収入	229,627,250
財務支出	216,076,164	財務収入	148,521,374
当期資金出資差額	△5,294,467		
合計	2,718,779,806	合計	2,718,779,806



(注)しらゆり会では監事による監査のほか、外部監査を公認会計士山川博司氏に委嘱し透明性の確保に努めています。

平成25年度 施設整備事業

1. 修繕関係

- 2・3階トイレ小便器及び配管改修工事 (泉の園)
- 土砂崩れ防止対策工事 (泉の園)
- 動力トランス取替工事 (泉の園)
- 冷温水発生機真空低下復旧工事 (詔光の里)
- 冷温水発生機用クーリングタワーファン修理 (詔光の里)
- 空調設備改修工事 (しらゆり千鳥保育園)
- 倉庫屋上防水工事 (希望の園)
- 作業棟熱風対策工事 (希望の園)
- 水源井戸掘削工事 (希望の園)
- 園舎耐震診断委託費 (ワークセンター島根)

2. 備品関係

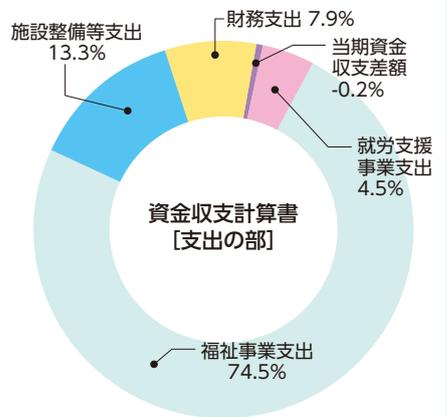
- 1階機械浴室空調設備更新 (泉の園)
- 低周波治療器 (光洋の里)
- 一人用浴槽 (さざなみ)
- 送迎用軽車両更新 (さざなみ)
- 個別浴槽 (詔光の里)
- 送迎用軽車両更新 (きらめき)
- 園庭塀更新 (しらゆり千鳥保育園)
- 急速冷却機更新 (しらゆり千鳥保育園)
- 外交用車輛更新 (希望の園)
- 人体フォーマープレス更新 (希望の園)
- 倉庫(作業棟) (希望の園)

3. 基本財産取得

- 耐震補強工事 (泉の園)
- 耐震補強工事設計監理費(一部) (泉の園)
- スプリンクラー設置 (互助の館)

4. その他の固定資産取得

- 駐車場敷地取得 (光洋の里)
- 園舎移転新築工事移転先地用地処理費他 (しらゆり保育園)
- 園舎改築工事(一部) (希望の園)



平成25年度事業にかかる事業報告書・財産目録・貸借対照表・収支計算書及び監事の意見書についての情報は、統括事務局にて閲覧が可能となっておりますので遠慮なくお申し出下さい。
[統括事務局電話番号:0852-21-0789]



障害者支援施設 「希望の園」園舎竣工

1、はじめに

昨年4月から改築に着手して
いました「希望の園」園舎が本
年7月に完成し、8月から利用
に供することとなりました。

平成20年度から始まった希望
の園の建物の二連の改修はこれ
をもって終了し、利用者の皆さん
の生活環境や就労環境が一段と
向上することとなりました。

2、希望の園建物の改修

昭和53年1月開園した希望
の園（入所定員50名、通所定員
5名、短期入所定員2名）の建
物は、園舎及び授産利用の作業
棟から成り、園舎は入所利用者
の生活の場として、作業棟はク
リーニング、パン製菓、野菜やキ
ノコの栽培、鶏卵養鶏、その他の
軽作業などに使用されてきまし
た。

しかし、これらの建物は20年
30年を経過し老朽化、耐震不足
など課題を抱えていた中、平成
18年4月、障がい者の皆さんの
自立を目指し、それまでの固定
化したサービスマン利用から利用者

自ら自分の希望に応じたサービ
スを受けることを可能にし、地域
生活への移行を目指した「障害
者自立支援法（現、障害者総合
支援法）」が施行され、平成24年
度末までに新たなサービスマン系へ
の移行が義務付けられました。

希望の園では、平成23年度にこ
の新たなサービスマン系へ移行す
る方針を固め、その円滑な移行
を行うため、まずは老朽化、狭
隘化した作業棟を平成20年度
に改築し利用者の就労環境の
改善を、さらに、入所利用者の
将来の地域生活移行へ向けてグ
ループホーム・ケアホーム（3棟
18戸）を平成22年度に新築し、
ここから希望の園へ通所利用が
可能となるようにした上で、平
成23年度に新サービスマン系へ移
行しました。最後に残った園舎
では、利用者の施設入所支援や
生活介護、就労利用者の休憩な
どを行っていました。昭和56年
度以前の耐震基準建物である
ため耐震不足や非バリアフリー
など極めて課題が多く、新たな
サービスマン系下でのサービスマン
供が十分出来にくい状況であっ
たため、平成25年度、26年度の

2力年事業で改築を行ったとこ
ろです。

3、おわりに

希望の園園舎改築は老朽化、
耐震不足によるのみならず、新
サービスマン系移行の中で、利用
者の皆様へより良い生活環境、
就労環境を提供しようとする
計画の一環でもありました。

今後はこれらの施設を有効に
活用し、利用者の皆様に一層充
実したサービスマンの提供に努力し
てまいります。

■一連の建物整備費

(単位：千円)

区分	希望の園 作業棟	グループホーム ケアホーム (互助の館会計)	同左 スプリンクラー 整備費 (互助の館会計)	希望の園 園舎
事業費	180,989	104,447	7,613	570,881
財源				
国・県補助金	0	57,000	5,511	353,325
松江市補助金	0	3,798	0	23,554
借入金	81,000	42,000	0	165,600
他会計繰入金	4,538	0	0	14,000
自己資金	95,451	1,649	2,102	14,402
備考 (事業費内訳等)	20年度建築 地質調査費、建築費 解体費、設計監理費 借入金 市中金融機関	22年度建築 建築費、設計監理費 備品整備費 借入金 市中金融機関	25年度整備 設備費、設計監理費	25～26年度建築 地質調査費、建築費 解体費、設計監理費 備品整備費 (このほか保護者会か ら備品の現物寄付有) 借入金 福祉医療機構



園舎概要	鉄骨造り2階建て 延床面積 / 1,784.13㎡ 建築面積 / 1,637.41㎡ 工期 / 25.4.1~26.7.22 特長 / 屋上菜園、太陽光発電設備 (30KW)
1F概要 (1,578.85㎡)	居室 / 2人部屋 (13室) 1人部屋 (6室) ショート (2部屋) 多目的ホール、ディールーム、食堂、医務室、相談室、 厨房、スタッフルーム、ほか
2F概要 (205.28㎡)	会議室、書庫、更衣室、ほか

こんなことを行いました!

施設の活動報告

社会福祉法人しらゆり会では様々な取り組みを行っています。
今回も、各施設からの声をお届けします。

救護施設 泉の園

救護施設居宅生活訓練事業の取り組みから 自分らしく生きるために

泉の園では平成23年7月から居宅生活訓練事業に取り組み、利用者の方は訓練用の住居を利用して地域生活移行を目指しております。事業を開始して3年が経過しその間に3名の方が退所されて現在は3名の方が訓練中です。

現在訓練中のA氏の訓練経過について紹介します。A氏は平成22年に単身での生活が困難となり泉の園に入所となりました。入所当時は病院での治療も終わっていたため、生活も落ち着きを取り戻しつつありました。当時の家族と福祉関係者からは周囲の人に相当な迷惑をかけた経緯もあって、地域生活移行には強い反対意見もありました。職員も生活の乱れに不安を感じながらの対応となりました。

宅生活訓練事業を利用する事となりました。就職活動についてはハローワークと松江就業・生活支援センターの協力もあって、今年1月には社会福祉施設の準職員として採用も決まりました。職場への通勤はバスを利用して、月1回の通院も単独で対応してもらい職員は確認程度に努めております。A氏は今後の将来の生活場所についてアパート生活を望んでおられます。自分の年齢から考えても最後の機会ととらえて日々の訓練に励んでおられます。

施設入所者の地域生活移行を推進するには、利用者自身の努力と支援に係わる関係者の助けが必要です。自分ひとりで解決できない課題も多くあります。将来、アパートに行かれても社会生活を送る上での、知識と生活技能の習得も必要で継続的な支援が不可欠です。地域の社会資源を最大限に活

～利用者の声～

今は仕事に就けただけでもありがたいと思っています。これからも今の仕事を大切にしたいと考えています。将来はアパートで生活したいと思いますが、アパート生活で困った事や問題が出てきた時には誰かに相談しないと解決できないので相談したいと思っています。これからも人と人のつながりを大切にしたいと思っています。

用し自分らしく生き生きとした生活を目指してもらいたいと望んでおります。



職場にて

遠足〜とっとり花回廊・壽城へ〜

6月21日（土）、希望の園にて遠足がありました。職員16名、利用者57名、保護者15名の総勢88名で大型バス2台に乗り、とっとり花回廊へ向かいました。

保護者も来ていただき、楽しい遠足になるのではないかと思います。いつも不安も多く無事を祈りながらの遠足でした。遠足当日の2日前では天気予報が雨であり、心配されましたが当日に

辺り一面花畑で綺麗だなあ。



花の丘にて

なるとくもり空ではありませんが、雨はなく遠足に向かう事が出来ました。

とっとり花回廊では当日にゆりまつりが開催され、オープニングセレモニーにテレビの取材が来ていたり、セレモニー参加者に花苗がプレゼントされたり大盛況でした。

国内種、外来種などさまざまな種類のゆりが咲いていて、グラデーシヨンのように色が違うゆりが並べられていてとてもきれいでした。

利用者さんも明るい笑顔でゆりの花を見ている人、保護者と話しながら見ている人や持ってきたカメラでゆりの花を撮影している人、スタンプラリーに夢中人など、さまざまに過ごされていました。

とっとり花回廊は広く、歩き疲れた人も多いと思いましたが、「笑顔できれいだったね」「楽しかったよ」と言われ、計画をしてとてもよかったと思いました。

とっとり花回廊を出て希望の園へ帰る途中におかしの壽城へ

寄りました。おかしを作っている工場を見る事ができ、見入っている人もいました。試食もでき、利用者と一緒においしいねと言いながらいろいろ試食をさせてもらいました。ある利用者から家族におみやげを送りたいので、一緒に選んで欲しいと頼まれました。利用者といろいろ悩みながらおみやげを買いましたが、選んでいる最中、とても家族のことを考えて選んでいました。おみやげも決まり嬉しそうに

「喜んでくれるといいな」と言っていました。

今回の遠足で利用者にはさまざまな顔をみせてもらい、保護者には助力を頂き遠足を無事に終わる事が出来、とても感謝しています。

みんなで楽しくお弁当頂きました。



楽しい昼食



みんなで集合写真

「しらゆり会に相談支援事業所「ねくすと」が誕生しました!!」
 ～障がいをお持ちの方(児)やそのご家族のより良い生活を支援するために～

●相談支援事業所とは

平成24年4月の障害者総合支援法・児童福祉法の一部改正により、福祉サービスを利用する全ての方に「サービス等利用計画書」又は「障害児支援利用計画書」が必要となり、平成27年3月31日迄に作成しなければならぬことになっています。

活上の希望等をお聞きし、必要と思われる支援について記載した、「サービス等利用計画書」及び「障害児支援利用計画書」を作成いたします。

●支援内容

- 1 基本相談支援（障害者・障害児等からの相談）
- 2 サービス等利用計画書の作成
- 3 訪問によるアセスメント及びモニタリング
- 4 サービス担当者会議の開催等による専門的な意見の聴取
- 5 相談の内容に付帯する便宜



障がいをお持ちの方(児)やそのご家族がより良い日常生活を営むことができるよう、2名の相談支援専門員が、福祉サービス利用にあたっての相談及び日常生活全般に関する相談等に応じます。
 生活状況や心身の状況、生

松江市の全域を事業エリアに、相談支援専門員が相談支援を行います。

【営業日】 毎週月～金曜日
 (但し、祝日及び8月13日～15日・12月29日～1月3日は除く)
 【営業時間】 8:30～17:30
 【お問い合わせ】 Tel: 0852-21-5080
 E-mail: s.nekusuto@sirayurikai.or.jp

相談内容の一例

- ◆福祉の制度が知りたい
- ◆仕事がしたいけど・
- ◆ヘルパーさんを頼みたい
- ◆お金を管理して欲しい
- ◆外出が1人で出来ない
- ◆日中家にばかりいたくない
- ◆一人暮らしがしてみたい

相談は無料です!

但し、松江市以外の地域の居宅を訪問する際には交通費または公用車を使用した場合、距離に応じたガソリン代を負担していただきます。



ボーリング大会



みんなで、ハイポーズ!

毎年参加している「島根県障がい者ボーリング大会」が出雲市の為参加できず互助の館ボーリング大会を企画しました。互助の館津田・矢田合せて37人の利用者さんがいらっしやるので、5月25日(日)6月1日(日)の2日に分けてボーリング大会を行いました。

ました。

ボーリング場では、普段とは違う利用者さんの姿がたくさん見られました。

・いつもは大人しく無口なTさんは、ストライク・スペアが取れると大きく

ガツポーズ
・お茶目なKさんはボーリングのレーンに手を合わせ「倒れて」と神頼み。

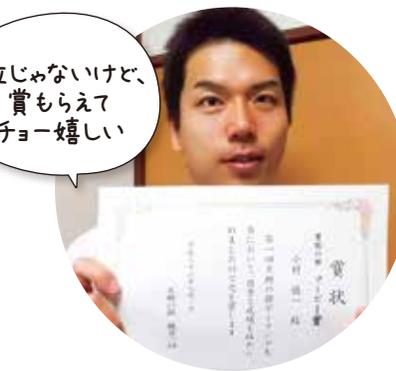
・スポーツウェアをばっちり決めて投げるフォームも完璧なNさん。思うようにピンが倒れず「あー」

初めて行事に参加される利用者さんもおられ、一ゲーム目は



私、優勝しちやったよ!!

女性部門の1位でした



1位じゃないけど、賞もらえてちょー嬉しい

男性部門のブービー賞でした

緊張からか?ピンも思うように倒れず、時間がかかりましたが二ゲーム目はストライク・スペアが出るたびに歓声も上がり自然とハイタッチする姿もみられました。利用者さん同士の交流の場となりとても楽しい時間が過ごせました。

東急インホテルのバイキングでは、見渡す限り色とりどりの料理が並んでおり「何にしようかな?あれも食べたいな」「あの料理美味しかったよ。私も食べてみよう」といつもは関わりの少ない利用者さんも自然に笑顔と会話が弾んでいました。

若い利用者さんは、お皿に大盛りにして食べきるのに四苦八苦の場面もありました。大会終了後優勝者とブー



う〜ん、このゼリー美味しいなあ〜

ゲーム後の楽しいランチタイム

ビー賞の方には賞状と東急インホテルバイキング無料券を贈呈しました。
利用者さんからは「楽しかった」「美味しいものがたくさん食べれて良かった」「また企画して欲しい」との声がありました。性別も年代も超えて利用者さんが楽しい時間を笑顔で過ごされたことをうれしく思います。

一致団結しています。



ワークセンター島根は昭和55年開所し、以来33年間紙製品加工製造を中心にバインダー、ファイルなどを製造しています。利用者の方は平均年齢52・2歳、平均勤続年数16年、20代から70代の方が毎日作業をしています。現在開所当時から働

いている方は5名で、最高齢は76歳です。中には雨の日も風の日も自転車で通勤される方、天気の日には車椅子で通勤される方と、とてもパワフルです。身体・知的・精神障害とさまざまな障害の人が働いていますが、聴覚障害の人とのコミュニ



ケーションが一番取りにくく、利用者さん自身が自分で手話の本を買って勉強したり、お昼休憩に手話を教えてもらったりして努力される姿もあります。作業はさまざまな工程があり、技術が必要な製品もある為、年配の人が若い人に教えていく流れも出てきます。その中で、誰もが頑張つて良い製品を作つていこうという心構えも



生まれてくるのではないかと思います。

工場内も良い環境での作業を心掛けており、去年パナソニックデバイス様より寄贈していただいた掃除機がフル活動している中で、トイレ掃除も皆で行うことになりました。施設長、職員も利用者の方と一緒にしています。全員で行うことで仕事に対しても意気込みが出て来ます。私達職員はこれからも利用者の方との繋がりを大事にし良い製品を切磋琢磨しながら作っていきたいと思います。

光洋の里 全国郷土料理巡り

光洋の里では毎月全国の郷土料理巡りをしています。今まで見た事も食べた事もない料理を堪能しています。利用者さんもその日はその料理の話題でもちきりで、楽しい時間を過ごしています。ご覧になられた方では是非作ってみたいと思われる方はレシピを御教えました。

青森県

献立名

ホタテ炊き込みご飯
氷頭なます
タラのじゃつぱ汁
アップルパイ

じゃつぱ汁はタラを丸ごと一匹使った津軽の代表的な料理。今回は身の部分のみを使用。

山形県

献立名

出しご飯、芋煮
大根サラダ、梨

だしご飯は夏野菜と香味野菜を細かく刻み、醤油などで和え、ご飯や豆腐などにかけて食べます。



山梨県

献立名

ホウトウ
甘辛鶏もつ煮
キノコのとろろ和え
梨

ホウトウは栄養バランスと消化に優れた、かの武田軍の陣中食？鶏もつ煮は下処理をきちんとし、茹でた後で調味料を絡めるように仕上げました。



茨城県

献立名

納豆のかき揚げ
レンコンの炒め物
干し芋

水戸と云えば納豆。皆さんが食べられるようにかき揚げにしました。園内に納豆の臭いが充満していました。

長崎県

献立名

皿うどん
浦上そば
すき昆布のサラダ
カステラ

ちゃんぽんと皿うどん、どちらにしようか迷いながら、初めての皿うどんに挑戦。麺は揚げずに焼きました。あんが美味しく、もっと沢山掛けて欲しかったです。



奈良県

献立名

奈良茶めし、にゅう麺、
カシワのすき焼き、
胡麻豆腐、奈良漬け

茶めしの起源はとても古く、東大寺など僧坊で食されていたそうです。



愛知県

献立名

ご飯、味噌カツ
和え物
きしめん、外郎

豚カツに味噌をベースにした独特のタレをかけ、見た目は濃いそうだけど意外とくどくなく美味でした。

沖縄県

献立名

沖縄ソーキそば、もやしのチャンプル
ミニガアの和え物、チンスコー

独特な郷土料理が沢山。その中から代表的なものを提供。「ソーキそば」にはスペアリブを「トコトじっくり煮込んだ具をのせ、豚の旨味が出ているのにあっさり美味しいと好評でした。



さざなみにおける医療支援について

医療支援の一日の流れとして、来られてすぐに家族からの連絡事項を確認し、バイタルチェックを行い、その日の入浴の有無

を決定します。入浴される方は入浴時に全身の観察、処置を行い、ベッド上で過ごされる方は浣腸、バルン交換、2時間毎

最後に水分補給、トイレ誘導を終え、送りとなります。

朝来られてから送りまでの短い時間ですが、看護師として

表情、顔色、行動など少しの変化も見逃すことなく観察するように心掛けています。また事前に利用者様の家族と話し合い緊急時マニュアルの作成をしています。

家族や連携施設に連絡、病院を受診します。時には重度のてんかん発作で掛かり付けの病院へ救急搬送することもあります。

いろいろな事態を想定しひとりひとりの利用者様の家族、支援事業所との連携を大切にしています。これはデイサービスの医療に携わる者として一番重要な事ではないかと考えています。

す。さざなみでは、看護師は自分ひとりでするので大変な部分もありますが、他の職員の協力と利用者様の「ありがとう」の言葉で頑張ることができています。

これからも皆様の笑顔と健康維持に努め、安心して来ていただける『さざなみ』でありたいと思います。

看護師 加藤智美

今日も笑顔で一日が始まるよ〜



の体位変換などの時に観察します。昼食時には誤嚥などに留意しています。食後は安楽な体位でのベッド休憩をして頂き、車椅子で過ごされる方は持参された雑誌や新聞を読まれたり、趣味のパズルなどをしてリラックスされています。休憩時間が終わると離床していただき、それぞれの好みに合った将棋、創作活動、レクリエーションへ参加し楽しんで頂いています。



看護師 加藤智美

夢楽の郷『新メニュー登場!!』

夢楽の郷も6月で創立22周年を迎えました。

私たちは毎日の食事をとても大切にしています。『食事』は楽しみでもあり、何より生活していく上で欠くことの出来ないものです。

夢楽の郷では、外で食事を楽しむ機会の少ない方もおられ、外食に行った気分を味わってもらえるようなメニューも提供しています。

ビーフシチューやスパゲティなど、普段の献立に少し変化を付けて、パンかご飯かを、その日の気分で、その場で選択して食べていただく献立。また、サ



トッピングバイキング

ンドウイッチ、ハンバーガーなど好みの『食材』を選んでサンドしていただく献立、他にも、サラダバイキングなどにも挑戦してきました。

中でも人気があるのが『トッピング・バイキング』です。主に丼物や、麺類の献立に5〜7種類の具材を好きな量と種類をご自分で選んで食べていただいています。

献立が登場してしばらくは、どのような食べていいのか、どのくらいの量を食べたらよいか戸惑いを感じておられる方もありましたが、回数を重ねることに、今では人気メニューの一つになるほどになりました。

また、季節の献立として、5月5日の子供の日には『鯉のぼり稲荷』を提供し、入居の皆様には『かわいい』と好評でした。7月7日には『七夕夜空蕎麦』と献立名を付け、蕎麦とのりを『夜空』に、茹で卵の黄身を『月』に、海老を『織り姫・彦星』に見立て、長いものとオクラで『天



鯉のぼり稲荷

の川』を表現してみました。旬の食材を使用するのはもちろん、目でも季節を感じて楽しんでいただけるよう心掛けています。

四季折々に喫茶会も行います。5月には「春の喫茶会」として『手作りパンケーキ』『プリンアラモード』どちらも旬の果物を使用し、季節感を楽しんでいただきました。

盛り付けにも給食部スタッフで検討を重ね完成させました。結果、皆様より『きれいだね』『食べるのがもったないよね』という、とても嬉しい言葉も頂きました。

また夢楽の郷の食事は、温かいものは、食べる直前に盛りつけ、入居の皆様の顔を見ながら給食部スタッフが汁を盛り付け提供しています。



七夕夜空蕎麦

そのため、入居の方の個々の食べ物の好き嫌い、苦手な食材、また大好物などの情報が、毎日の業務内でのコミュニケーションで培われます。

また、リクエスト献立箱を食堂に設置し、もう一度食べたい献立、給食に対する意見、要望を直接職員に言いにくい事、または美味しくなかった献立など書いていただき、今後に活かせるようにしています。

これからも、毎日の入居の皆様からの生の声、リクエスト献立用紙からの意見を大切に受け止め、私達給食部スタッフ一同、入居の皆様に、毎日楽しく過ごしていただき、喜んでいただける食事づくりに、これからも努力していきたいと思えます。

角浦 美和子

看取り介護

当施設では今年度に入り、同時期にお二人の看取り介護に携わらせていただきました。この貴重な経験を通して、職員が感じたことや学んだことを、皆様にお伝えしたいと思います。

看取り介護では、残された時間を愛するご家族と過ごし、利用者様が最期まで自分らしく穏やかに、苦痛なく安



らかに過ごされるよう配慮していくことが大切です。また、利用者様のケアと同時にご家族の心情、付き添われている

時の緊張感や疲労感を理解した上でご家族に対してのケアも重要となります。ご家族は、覚悟をなさっているとはいえ、かけがえのない人の最後を迎えることは精神的にとて

も厳しい状態でいらっしゃると思います。少しでも、この不安を軽く感じて頂きたく、職員はお声掛けを頻繁に行うように

努めています。そして、当施設では、周囲を気にせず家族の時間を過ごしていただけるよう、個室を用意し宿泊できるような環境も整えています。

利用者様とご家族の気持ちに寄り添ったケアを目指す、とは介護現場では良く使用する言葉です。どのケアもそうですが、これを行えば、正解！とはなりません。利用者様個々に寄り添った、その利用者様だけのケアを追及しなければなりません。

ん。

同時期にお二人を看取るということは、職員にとって精神的にも身体的にも緊張状態が持続しており、不安も大きいものでしたが多職種と連携しケアについて密に話し合うことで不安も軽減していきま

した。お二人をお見送りした後は「もっとやれたのではないかと後悔が残りませんでした。しかし、ご家族から「ありがとうございます」と感謝の言葉を掛けられた時、利用者様と共に過ごした時間と貴重な経験をさせていただけたことへの感

謝の気持ちがおみ上げてきました。

超高齢化社会を迎えている日本では、今後益々、平均寿命が延び、そして、認知症高齢者が増加することが容易に想像できます。特別養護老人ホームが果たすべき役割を全職員は、しっかりと認識しなければなりません。この役割の一つに、看取りも含まれています。

今回の看取り介護から得たことを、今後に生かせるよう日々の利用者様との関わりを大切にしていきたいと思えます。

「詔光の里」入所の方の外出スナップ



玉湯の桜です



喫茶店でホッ

行事食の無限のパワー



暑い中「涼」を求めて

いやしの館では、二つの大きな行事があります。開設以来8月は「そうめん流しの会」、12月は「お蕎麦(傍)の会」を催します。お蕎麦の会では、いつもお傍に寄り添わせて頂くという意味の(傍)と蕎麦を掛けてあり、お元気で年を越され、来年もお元気でという願いと、長い麺に掛けて、長生きしていただくようお願いの気持ちも込められています。

いやしの館では、二つの大きな行事があります。開設以来8月は「そうめん流しの会」、12月は「お蕎麦(傍)の会」を催します。お蕎麦の会では、いつもお傍に寄り添わせて頂くという意味の(傍)と蕎麦を掛けてあり、お元気で年を越され、来年もお元気でという願いと、長い麺に掛けて、長生きしていただくようお願いの気持ちも込められています。

毎回石田看護師の御主人が来て下さり、そうめん流しの竹で食事を召し上がっておられる方が、この日はお箸を使って上手に召し上がられるという光景や、水分や汁にトロミを付けて、召し上がられる方が、つゆをたっぷりつけたそうめんをすすられる光景も目にする事が出来ます。また、お楽しみ昼食会も行われています。普段なかなか召し上がられる機会の少ない目先の



大好きな息子様と一緒に

変わった外部のお食事を頼んで、ご自分のお好きなものを召し上がって頂いています。時には〇〇の牛丼を、時には〇〇のおでんを、時には本物の職人さんをお呼びして、いやし寿司を開店したりと本当に年に数回のお楽しみの一と時となっています。この時も、普段は刻み食を食べておられる方が、牛丼をパクパクと召し上がったたり、いつ

もは食の細い方がお寿司を完食されたりと、驚くような光景を目にします。もちろん、普段の食事がこのような光景だったらと思います。行事だからこそ出来る、行事だからこそ食べられる、そういう力が行事食にはあるように思います。

これからも、御利用者の傍に寄り添って時には大いなるパワーを生み出す事の出来る食事作りを心掛けていきたいと思えます。



毎年恒例のそばの会スタートですよ

花を見ながらのひと時



季節の花と一緒に香りも楽しめます。

デイルームにはいつも花が飾ってあります。春には桜やチューリップ、梅雨の時期にはアジサイ、初夏にはバラやユリなど。この花の多くはサービスを利用される皆様からいただくものが殆どです。「皆さんに見てもらいたいから」「好きな花だから」とデイサービスへ出掛ける前に準備した花束を、職員に差し出されます。自宅で大切に育てられた花を活けると、利用者様と季節の話しや、花に関するエピソードなど会話が尽きません。和気藹々と利用される皆様に、

家庭的で温かい雰囲気さらさら
に満たしてくれます。

いつもの生活の中にちよつとした緑が入ると潤いが出て、心もリラックスモードに。また、咲きかけの蕾や小さな花が咲くことで生命力の強さを感じ、元気や、やる気をももらえるようです。

食べ物に匂がありますように、花にも匂があります。デイサービスを利用される利用者様にも季節や匂を感じていただき、暖かい雰囲気の中、皆様の笑顔を咲かせてほしいと思います。



花がある空間は
心が和みます。

毎月のお楽しみ外出



こたつにあたりながら、舟の揺れが気持ちいいなあ。

「ねざらい」では、ご高齢の方への支援の他、視覚や聴覚に障害のある方等への生活のお手伝いもさせて頂いています。木村さんと持田さんは、希望の園での寮生活を経て、現在はケアハウス夢楽の郷にお住まいです。希望の園でのお仕事を続けておられますが、休日は特にすることもなく、生活が単調になりがちです。

になりました。

バスを乗り継いで堀川遊覧をしたり、デイサービスきらめきのちまき作りに参加したりと、身近な場所で楽しんでおられます。

当初はケアハウスでの集団生活に馴染めなかつたお二人ですが今ではケアハウスでの生活がかげがえのないものだと言われます。

その中の少しの部分に私達も携わらせて頂いているのだと思ふ業務に励んでいます。



移動のバスの中で。仲良し3人組。

開設二十周年を振り返って

平成六年六月、訪問看護ステーション暖心は、島根県社会福祉法人で訪問看護事業第号として開設し、おかげさまで今年七月、二十周年を迎えることとなりました。今日まで大過無く事業が出来ましたのも利用者様や関係者の方々のご支援ご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

顧みますと、開設当初から約三年間、訪問看護事業の知名度が低く訪問看護の利用実績が上がらず、当時の管理者や先輩方は苦労されていました。橋北から橋南地区を自家用車で遅くまで営業で走り回っておられた姿を覚えて

います。

療養者を取り巻く環境も変わり、平成十二年四月に介護保険制度が始まり介護保険と医療保険の二本立ての訪問看護事業となり、また平成十四年には居宅介護支援事業を七年間兼務しました。そして在宅医療への期待も一層大きなものとなり、訪問看護は、医療と介護を繋ぐ重要なサービス事業であることされ、在宅療養者の三百六十五日二十四時間緊急時対応体制が必須条件で、常に利用者のニーズに応えられるよう努めました。

現在、常勤スタッフ4人、非常勤三人で平均年齢が五十歳になりました。これからも先輩方が築いてこられたステーションを守り、次世代に引き継いでいけるよう、訪問看護師の人材確保と育成に努め、そして経営的に安定した事業運営が出来るようにしらゆり会の信条にある「安心・安全・信用」と選ばれるステーションであるよう日々精進し努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



このメンバーで伺いま〜す♡

新しい生活の場へ

今年の3月、約3年半担当をさせていただいた80代のご夫婦が、お二人揃って有料老人ホームに入居されました。

約3年半の関わりの中で、進行性の病気と診断を受けられた旦那様と、認知症と診断を受けられた奥様とのご夫婦お二人の生活は、今年に入り継続が難しい場面が増えて行きました。

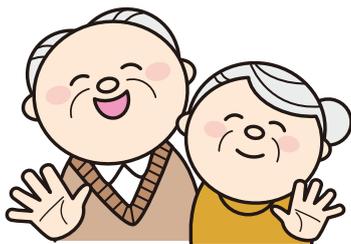
細やかな所に気の付く旦那様は、奥様のベッド周辺の事などが気にかかる、動きにくい身体であつても起き上がり、奥様のベッドの近くまで歩いて行かれては転倒される事が目立つようになり、一方奥様も、他者の見守りや介助が必要な事

が多くなりました。

このようなお二人の生活を、市外から毎日ご実家に通われ全面的に援助されていた長女様を中心として、ヘルパー、デイ、ケアマネが連携を取りお手伝いさせていただきました。近年は、住み慣れた場所でも不自由な事が多かったのではないかと想像するご夫婦の生活ですが、お二人の温厚な人柄もあり穏やかな雰囲気にも包まれていたように思います。

先日、有料老人ホームに入居されてからのお二人のご様子を長女様にお伺いしたところ、ご夫婦共にお元気で几帳面な旦那様が変わらず奥様の世話を焼いておられるということでした。

大きなケガや病気もなく、お二人揃って新しい生活の場へ移っていただく事が出来た事は、関わらせていただいた私達にとりまして喜びであり、今後もお二人の生活が健やかである事を願うばかりです。



お話が育む大切なもの

現代の子どもたちをとりまく環境としてテレビやパソコン等は切っても切り離せないものになっているのではないだろうか。そうした環境の中にひたって育つ子ども達の多くは、常に受け身の為自分から遊ぶ意欲に欠けたり、言葉でのコミュニケーションが難しかったりと人間関係を形成する力にも影響がみられるようです。

こうした子どもたちのよりよい育ちを願いしらゆり保育園では絵本などの読み聞かせを大切なことの一つとして保育の中に位置づけています。一日の保育の中で、朝、午睡前、夕方と少なくとも三回は、乳児から就学前までの子どもたちのどのクラスも絵本などの読み聞かせの時間を設けています。子ども達の発達や興味、季節、他の保育とのつながり等を考えて絵本を選んでいます。読み手である保育者自身が楽しみ、うまく読もうとするのでなく話の内容が聞き手に伝わるように読んでい

くよう心掛けています。子ども達はこの時間をとても楽しみにしています。

このような保育園での取り組みと共に地域の方達による様々な形でお話しをして頂く機会も取り入れています。



～昔話の世界にタイムスリップ～ “てんぐ てんぐ めってんぐ”

かんべの里民話館での語り部さんには、絵はないけれど太鼓や歌を取り入れた楽しい昔話などをしてもらっています。子ども達もお話の中の歌が気に入り、民話館の近くまでくると思わず「てんぐ、てんぐ めってんぐ。」と口ずさむ程です。そして、



館長さん!今日のお話はな～に…。

様々な体験を通して交流が続いている館長さんには昔ながらの自転車、拍子木というスタイルでの紙芝居の読み聞かせをして頂いています。また、年長児は毎月一回、ボランティアの方にストーリーテリングをして頂いています。これも絵のないお話ですが、ローソクの灯りの中、語り手の方の顔をみつめ話に聞き入る子どもたちの表情をみると、お話の想像の世界に入り込んでいることを感じさせます。

こうしたお話の機会を通して、子ども達は言語能力や聞

く力、想像力を育んでいくように思います。また、それは自分一人の世界にとどまらず、想像やお話の世界を友達と共有しイメージを言葉によって表現することを楽しんだりもしています。



ローソクのあかりがともるとおはなしのはじまりです

そしてその想像する力はお話の世界だけではなく、友達との関わりの中で、相手の気持ちを想像する力にもつながっていくのではないかと思います。

私達は今後も保育の一つである読み聞かせやお話を通じた交流を続けていく中で、子ども達の成長にとって大切なものを育んでいけるよう努力していきたいと思えます。

しらゆり保育園

神村 育子

『安心して預けられる保育園』を目指して

保護者が安心して子どもを預けられる保育園とは…。やはり安全が保障される保育園であるということが第一であると思います。ここ近年、様々な問題が騒がれているなか、保育園としてするべきことは何か…。私達は常に考え実行しながら日々保育をしているところです。

そのなかでもまず、大気汚染への対策として本園では毎日、こまめにPM2.5の数値を確認し、戸外に出る前や換気をする際にも必ず安全であるということとを把握してから実行するようになっています。そうした取り組みを通して保護者にも安心してもらえる環境を整えています。また、戸外遊びができる日には



毎日、その日の大気汚染の数値を掲示板に貼り出し、保護者の方々にも伝えています。

毎朝マラソンにも取り組んでいます。ロコモティブシンドローム予備軍や子どもの体力低下が問題視されているなか、日々のマラソンや長縄、竹馬、ポツピン、グアそびなどを通して、心身共に強くたくましく育つよう願っています。

次にマダニへの対策として、散歩や園外保育に行く際にはできるだけ肌の露出を避ける服に着替えるようにし、首にタオルを巻き、帰ってきたらすぐに衣服を替えるなど、マダニセツトの準備も徹底し万全な対策をしています。

また安全面以外にも、子ども達に食の楽しさを伝えたい



音楽に合わせて走るマラソン!楽しいね!

…。そんな願いから本園では、5年前から職員が「イモ子とマメ子」に扮してオープンクッキングを行い子ども達に食の楽しさも伝えていきます。この取り組みにより、今までは食べられなかった食材も食べられるようになったという子も見られ、子ども達、保護者からも人気な取り組みとなりました。

イモコ特製「いけいけのおふね焼き」☆☆出来立てホカホカ美味しいよ〜!



ここ近年、保育ニーズも高まる中で保育園に求められることは年々増えてきていると思います。そうしたなかで、まずは基礎部分である安全性に着目し、いかに子ども達が安全な環境の中でこのびと生活できるかを重視しながら、今後も園全体で様々な取り組みを継続して実行していきたいと思えます。また、食べるのが好きな子どもに育つよう、食育にも引き続き力を入れていきたいと思えます。

地域の子育ての拠点として 保育所体験・育児懇談会を通して

当園は、子育て支援の拠点として様々な活動を行っています。内容としては、遊びの場の提供、親子での触れあい遊びの紹介、給食の試食や簡単レシピを通じて乳幼児の食事のポイント等を知らせる活動をしています。

近年、保護者の方々や、園開放で参加される地域の皆さんとお話する中で、子どもさんに対する関わり方を悩んでおられる方が多く、個別には、強い育てにくさを感じておられ、それが心理的に保護者の方自身を追い詰めいつもストレスを抱え、子どもさんと向き合う事が難しくなっている方もおられるのでは



保育所体験ポスター

ないかと思いました。

そこで、今年度から保育所体験に、地区の保健師さんをお呼びし保護者や子どもさんと一緒に過ごしていただきながら、日頃の育児の悩みなどを気軽に相談できる場を設けることにしました。

参加された皆さんからは、様々な相談が寄せられています。好き嫌いが多く、食事をたべてくれない、じっとして座って食べられない、断乳のしかたやいや期の関わり方がわからない等々の悩みを保健師さんが保護者の方々の気持ちに寄り添いながら、また、自身の子育ての経験も含めながら、丁寧に相談に応じて下さっていて大変好評です。

加えて、今年度、0歳、1歳、2歳児の参観日に合わせて、育児懇談会や育児講演会を開催しました。育児懇談会では、お母さんだけでなくお父さんの参



6月に参加された皆さん



加も多数あり、そこにも地区の保健師さんにおいていただき、育児へのアドバイスをしていただきました。その中でも、お父さんの育児や家事への協力が欠かせないということもお話していただき有意義なひとときになりました。加えて参加された子育て経験の豊富な保護者の方々の経験談などは、その場をうならせる説得力があり、保護者さん同士のコミュニケーションの場にもなったようでした。

今後も、育児や子育てに日々



保健師さんを囲んでの育児懇談会。お父さん達も参加。皆さんから多くの質問が出ました。



今年の試食会は、和食をテーマに開催しました。

奮闘していらつしやる保護者の皆さんに少しでもお役にたてることのできるような役割を、地域の専門機関と連携をとりながら考え進めていきたいと思えます。

地域寿会との交流をとおして



本将棋!おじいちゃんとお局だ!さあどっちが勝つのかな?

しらゆり千鳥保育園では、開園当初から年三回、年長児と地域の「城東地区寿会」の方々の交流の場を持ち続けています。

はじめは毎回六〜七名参加して下さっていた寿会の方々も、今では毎回二十六、七人来てくださるようになりました。

春には「柏餅作り」を一緒に楽しみます。「なかなか家庭で柏餅を作る機会もなくなったわ」と、懐かしみながら手を添

えて優しく子どもたちに作り方を教えて下さるおばあさん。「初めて作るわ」と子どもたちと会話を楽しみながら作られるおじいさん。秋の「敬老お祝い会」冬の「お別れ会」では、おじいさん、おばあさんと一緒にミニ運動会で玉入れをしたり、フォークダンスを踊ったり、日本古来のあそびである、あやとり、お手玉、将棋、コマ回し等を教えてもらったりしながら、ふれあいの場をもっています。優しく重ねてくださる手の温かさ、「すごいね。そんなこともできるのね」「上手ね」と常に認め、褒めてくださる優しい眼差しと優しい声に子どもたちも温かい気持ちになり、心地よいひと時を過ごさせてもらっています。多くの子どもたちは、核家族家庭で身近なおじいさんやおばあさんがいない環境で育っている中で、優しく教えてくださったり、いろいろなことを褒めて下さることをとても喜んでいられるように感じます。前回の交流会では、



こうして、やさしくあんこを包んでね

ここ数年来てくださっている方の中から「この保育園の歌が素敵だから是非、聴かせてほしい」というリクエストもありました。いつも来てくださる方々が口々に「楽しみにして来たよ」「子どもの声を聞くと元気がもらえるわ」と子どもたちに会えることを楽しみにし、又、「楽しかったわ」「子どもたちは天使だわ。また、来させてね」と喜んで帰ってくださることで、子どもたちも私たち職員も穏やかな温かい気持ちにさせても



みんなで作った柏餅おいしいね!!

らっています。核家族が主流となっている今、地域の中でこのような形で世代間の交流の場を持てることはとても伴せなことであり、保育園と家庭だけでは育てることのできないところを、寿会の方々のお力をいただきながら育てていくことができると信じています。今後、この地域寿会の皆さんとのつながりを大切にし、子どもたちの豊かな心を育てていきたいと思えます。

社会福祉法第2条 第2項

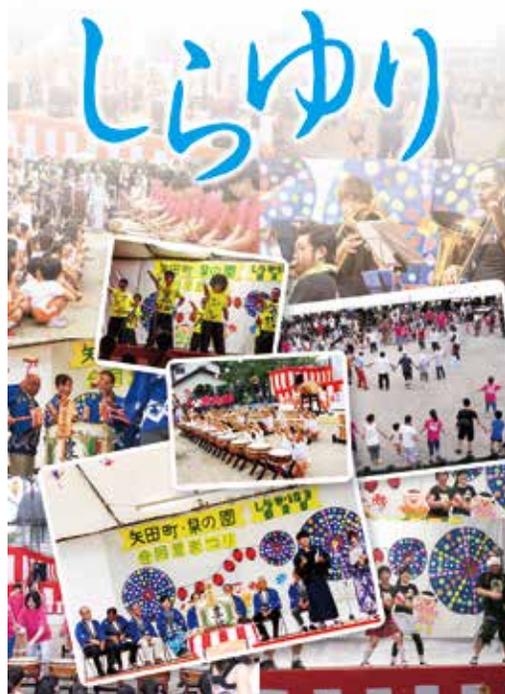
第1号	生活保護法に規定する救護施設	救護施設 泉の園 松江市矢田町472 TEL.0852-24-3512 FAX.0852-27-6987
第3号	老人福祉法に規定する特老、軽費老人ホーム	特別養護老人ホーム 詔光の里 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-4165 FAX.0852-27-6982
		特別養護老人ホーム いやしの館 松江市西川津町733-1 TEL.0852-27-0081 FAX.0852-27-0071
		軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷 松江市山代町933-9 TEL.0852-31-9036 FAX.0852-31-9038
第4号	障害者総合支援法に規定する障害者支援施設	障がい者支援施設 希望の園 松江市山代町934-10 TEL.0852-21-0791 FAX.0852-21-2829
		障がい者支援施設 光洋の里 境港市渡町2480 TEL.0859-45-5400 FAX.0859-45-5411

社会福祉法第2条 第3項

第2号	児童福祉法に規定する保育所	児童福祉施設 しらゆり保育園 松江市古志原6-19-36 TEL.0852-22-3803 FAX.0852-60-7132
		児童福祉施設 しらゆり第2保育園 松江市西持田町336-5 TEL.0852-23-3340 FAX.0852-60-7131
		児童福祉施設 しらゆり第3保育園 松江市矢田町484-6 TEL.0852-26-2356 FAX.0852-60-7130
		児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園 松江市北田町188-3 TEL.0852-21-3440 FAX.0852-60-7135
第4号	老人福祉法に規定する事業	老人ホームヘルプサービス事業 ねざらい 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-3328 FAX.0852-27-6982
		老人デイサービス事業 きらめき 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-3370 FAX.0852-27-6982
第4号 2号	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業	障がい福祉サービス事業 ワークセンター島根 松江市矢田町250-110 TEL.0852-22-4105 FAX.0852-31-1167
		生活介護事業 さざなみ 境港市渡町2480 TEL.0859-45-5407 FAX.0859-45-5411
		共同生活援助事業 互助の館 松江市矢田町484-6 TEL.0852-31-8313 FAX.0852-31-8313 松江市東津田町1324-1 TEL.0852-67-3500 FAX.0852-67-3500
		相談支援事業所 ねくすと 島根県松江市山代町934-10 TEL.0852-21-5080 FAX.0852-21-2829

社会福祉法第26条 第1項

施行令第4条	介護保険法に規定する居宅介護支援事業 他	居宅介護支援事業所 ナイス 松江市山代町934-5 TEL.0852-31-3288 FAX.0852-27-6982
		訪問看護ステーション 暖心 松江市山代町934-5 TEL.0852-28-0906 FAX.0852-27-6982



写真

矢田町・泉の園・しらゆり第3保育園
合同夏祭りの様子

毎年恒例の矢田町・泉の園・しらゆり第3保育園合同夏祭り。泉の園の利用者さんも大変楽しみにしています。竹矢音頭を町内の方や園児さんと一緒に踊り、一体感を感じる事が出来ました。

編集後記

今年は消費税の増税、福祉に関する制度改革、社会福祉法人への利権報道や規制改革など社会の厳しい視線もありますが、現場で働く職員は利用者様の「自主自立、自己実現」に向けて日々職務に励んでおります。

また、家族との繋がりがりや近隣等との付き合いが希薄になり、社会で孤立して暮らしておられる方々にも今後、支援の輪を広げて行く必要があると思います。

地域で生活しておられる「制度の狭間」で苦しむ方々に必要とされる、社会福祉法人を目指して職員一同精進して参ります。

最後になりましたが、発刊に際しまして、お忙しい中ご寄稿頂きました皆様方には心から御礼申し上げます。

しらゆり



しらゆり会では、日頃の活動報告や活動予定をホームページにて紹介しています。
下記のホームページアドレスからアクセスしてください。

時代のニーズに応える、
新しい社会福祉づくりに取り組んでいます。

<http://www.sirayurikai.or.jp/>



しらゆり【第30号】平成26年10月発行

- 発行人/理事長 国頭正治
- 編集・発行/社会福祉法人 しらゆり会
- 制作/株式会社 計画設計工房

※掲載の文章、写真などを無断転用・引用することを禁じます。また、掲載の氏名、写真は承諾を得て掲載しています。